

## 学生募集戦略検討委員会 総務・企画委員会共催 「学募共同事業」勉強会を開催しました

2019年12月24日(火)に、日本福祉大学東京サテライトにおいて、学生募集戦略検討委員会と総務・企画委員会共催の「学募共同事業勉強会」を開催し、12大学19名にご参加いただきました。

冒頭、本協議会 丸山悟会長（日本福祉大学理事長）より「年明けからの学力試験は、併願者が多いため他分野との勝ち抜き合戦になる。勝ち抜くには、ある種の「優位性」が必要である。福祉の「職業」や「専門職像」の訴求に留まり、「豊かな学びができる」福祉の学びの優位性を強調できないと、他分野に負けてしまうのではないか。福祉の学びの優位性を訴求し、勝ち抜き合戦に勝つ必要があると感じている。」との開会挨拶がありました。

続いて、以下の内容で勉強会を行いました。

### 【Twitter 広告(第3回)の配信結果について】

報告：株式会社ボーダーリズム 横地祐人 氏

2019年11月に実施したTwitter 広告の配信結果報告がされました。

またその結果を踏まえ、次年度の学募共同事業として、当協議会の特設サイト「幸せをつくる人をつくる」の改修提案がされました。

### 【2020年度学生募集に向けた最新トピックス】

報告：株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 飯島隆介 氏

定員厳格化の影響等で、前期入試で合格を決める安全出願傾向（AO 推薦志願者増。国公立大学のAO 推薦系も増）にあること、学力試験を中心とした中後期入試は昨年ほど定員ぶれしないのではないかとの見方が報告されました。

また桜美林大学の事例として、入学前プログラムの「ディスカバ！」が紹介されました。

続いて、次年度の学募共同事業で取り組みの方向性について、意見交換を行いました。

最後に閉会挨拶として、淑徳大学 総合福祉学部 松山恵美子先生より、「高校生の福祉のイメージが、「高齢者」「介護」から「助け合い」「人の和」等に変わってきている。一方で、福祉の仕事は外からみえづらく、わかりづらい。例えば、学んだ福祉の知識が企業でどう生かせるか、企業からみた福祉を学んだ学生の採用メリット等を発信し、理解を広めてはどうか。また、災害復興への高校生の関心が比較的高いので、福祉を学ぶ学生の災害復興への関わりを可視化できると、高校生の気付きにつながるのではないか。来年はオリンピック・パラリンピックがあり、ボランティア活動を通じて多くの可能性を示していけるとよい。福祉

系大学も変わる時期がきている。引き続き皆さんと勉強していきたい。」とのご挨拶をいただき、閉会しました。

以上、半日の勉強会ではありましたが、今後の取り組みを考える有意義な勉強会となりました。

